

福井しあわせ元気大会を全力で支援

選手団サポートボランティア養成協力校を委嘱

平成30年に開催される障害者スポーツの全国大会「福井しあわせ元気大会」。来県から離県まで選手団と行動をともし、会場内での誘導や介助等を行う「サポートボランティア」を養成するため、6月に県内全ての大学と短大、医療・看護・福祉系の専門学校15校を養成協力校に委嘱しました。800名のサポートボランティア確保に向け、来年度から各校で研修を始めます。

9月1日(木)からは福井国体・大会の運営ボランティアや情報支援ボランティアの募集を開始します。両大会の成功に向け、みなさんのご協力をお願いします。



若狭湾の航海を満喫

「雲龍丸」乗船体験を開催



旧小浜水産高校と若狭高校の再編により、平成26年に漁業実習船としての役目を終えた「雲龍丸」。

現在は、乗船体験を通して、福井の自然や水産業の魅力伝え、ふるさとに愛着を持つきっかけとしてもらうための船として活躍中です。

7月23、24日に行われた乗船体験では、小中学生の親子連れなど約80名が参加。若狭湾のプランクトンを採取し、その生態や分布を調査したほか、乗組員から船のかじ取りを学んだり、沖から陸を観察するなど、航海の楽しさを体感しました。

今回も!幸福度ランキング1位獲得

コピーとロゴで「幸福日本一」をPR

あらかじめ、
幸せだったらいいな。



7月に(一財)日本総合研究所が発表した都道府県別の幸福度ランキング。優れた子育て・教育環境や就業率の高さ等が評価され、平成26年の前回調査に続き、福井県が見事総合1位に輝きました。

これを機に、幸福度の高さをPRするためのコピー「あらかじめ、幸せだったらいいな。幸せ度いちばん福井県」とロゴを作成。「一緒なら、きっと、うまく行くさ。」等のコピーを制作した仲畑 貴志さんが手がけました。幸福度日本一の福井県に生まれた子どもたちは、「あらかじめ」用意された「幸せ」を手にするのを、人々の願いになぞらえて表現しています。

若者へ! 社長からのメッセージ

Fスクエアで「しごとカフェ」を開催

県内すべての大学等の学生が集い・学ぶ拠点として、今年4月、福井市のアオッサ内にオープンした大学連携センター「Fスクエア」。

6、7月にかけて、県内企業の社長が、企業の魅力や求める若者像等について、就職活動を控えた大学生等に直接語りかける交流会「しごとカフェ」を開催しました。参加した学生は、熱心に耳を傾けていました。

次回の交流会は、10月に開催予定です。
お問合せは ふくいジョブカフェ ☎0776-32-4560

